

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名		人権ふれあいセンター管理運営事業		E 指定管理者事業	
担当部署名		市民人権 局 人権 部 人権企画調整 課		シート番号 7-31	
		評価責任者(課長名)		黒田	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	人権を尊重するまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	昭和 49 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市立人権ふれあいセンター条例 堺市立人権ふれあいセンター条例施行規則 堺市平和と人権を尊重するまちづくり条例			
	4	関連計画	堺市人権施策推進計画			
5	事業実施の経緯	同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の速やかな解決に資するため、人権教育及び人権啓発並びに市民交流を推進することにより、市民の福祉の向上を図る施設として設置している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民等			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の速やかな解決を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①平成27年4月 施設をリニューアルオープンするとともに、指定管理者による管理運営を実施。 ・相談事業 市民の自立支援・人権問題の解決に資するための総合生活相談(福祉、進路等)、人権相談等を実施。 ・啓発事業 触松人権歴史館に人権資料・図書室を併設し、人権問題の総合的な理解促進と啓発を実施。 ・交流事業 市民相互の交流促進のため、スポーツ交流事業、文化交流事業(識字事業・講習事業)、青少年交流事業等を実施。 ・施設維持管理業務 利用者が安全・安心に利用できるよう、適正に施設を維持管理。 ②平成30年4月 運動広場等(テニスコート兼フットサルコート、テニスコート、運動広場、屋外駐車場)供用開始に伴い、指定管理者による管理運営を実施。 ③平成31年4月 第2期指定管理運営を開始。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	10	直接実施以外の主な支出先	JSAグループ			

Ⅲ. 投入量

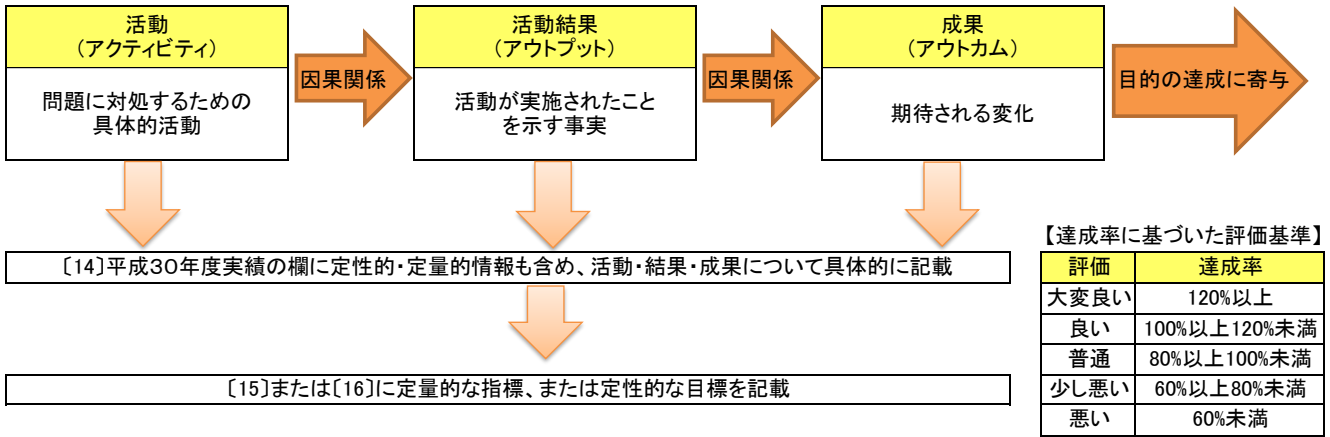
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	事業費 (a)	千円	273,749	263,815	290,453	272,199	
	主な事業費内訳	指定管理料	千円	271,521	263,433	267,275	267,178
		施設修繕料(災害関係)	千円			3,891	
		工事請負費	千円			18,511	
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	5,075	3,492	3,257	3,552
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円			16,300	
		その他(冊子等売払収入、光熱水費徴収金)	千円	578	403	427	425
		一般財源	千円	268,096	259,920	270,469	268,222
	12	人件費 (b)	千円	8,530	16,730	14,654	7,290
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	282,279	280,545	305,107	279,489	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	人権ふれあいセンター管理運営事業	シート番号	7-31
-------	------------------	-------	------

### Ⅳ. 評価 (測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績																																	
活動実績と成果	14	<p>相談事業では、市民の自立支援・人権問題の解決に資するための総合生活相談(福祉、進路等)、人権相談等を実施した。(相談件数805件)</p> <p>啓発事業では、舩松人権歴史館や人権資料・図書室において人権意識の向上を図った。</p> <p>交流事業では、スポーツ交流、文化交流(識字事業・講習事業)、青少年交流等を通じて、市民相互の交流を促進した。</p> <p>平成30年4月に運動広場等(フットサルコート兼テニスコート、テニスコート、運動広場、屋外駐車場の)供用を開始した。</p> <p>これら事業実施の結果、学校・企業等の年次研修の一環として施設見学が取り入れられる等、人権啓発の拠点施設であるという認識が広がった。</p>																															
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">人権ふれあいセンター利用者数</td> <td rowspan="4">人</td> <td>目標値</td> <td>121,000</td> <td>122,000</td> <td>123,000</td> <td>170,000</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>132,000</td> <td>131,942</td> <td>170,074</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>109%</td> <td>108%</td> <td>138%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>良い</td> <td>良い</td> <td>大変良い</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	人権ふれあいセンター利用者数	人	目標値	121,000	122,000	123,000	170,000	実績値	132,000	131,942	170,074		達成率	109%	108%	138%		評価	良い	良い	大変良い
	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																											
	人権ふれあいセンター利用者数	人	目標値	121,000	122,000	123,000	170,000																										
			実績値	132,000	131,942	170,074																											
			達成率	109%	108%	138%																											
			評価	良い	良い	大変良い																											
	算出方法・設定根拠など																																
	平成30年度までの目標値は、第1期指定管理期間における目標値である。令和元年度の目標値は、平成30年度にオープンした運動広場等の利用者数実績を踏まえ設定。																																
	16	利用者の満足度	%	目標値	91	92	93	93																									
実績値				77	73	84																											
達成率				85%	79%	90%																											
評価				普通	少し悪い	普通																											
算出方法・設定根拠など																																	
平成30年度までの目標値は、第1期指定管理期間における目標値である。令和元年度の目標値は、平成30年度目標値を継続して設定。																																	

#### 業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>・利用者数: 平成30年度に運動広場等がオープンしたことや、ロコミの広がりや宣伝強化による利用者数増加が考えられる。</p> <p>・利用者の満足度: 運動広場等がオープンし、設備や講座の拡充されたことが、満足度上昇の要因の一つとして考えられる。</p>	<p><b>【分析のチェックポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業の達成度はどうでしたか。</li> <li>○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。</li> <li>○ 資源投入は適切でしたか。</li> <li>○ 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。</li> <li>○ 事業の有効性は高いですか。低いですか。</li> </ul>
----	---	---